

芸友



平成28年熊本地震

被災地視察の 御報告

題字 田代弘興 猿下

第156号

<http://bussei.gr.jp/>

真言宗豊山派仏教青年会 第三十一代会長就任挨拶



埼玉三号 持明院 木村真弘

真言宗豊山派仏教青年会第三十一
代会長の大任を仰せつかりました埼
玉三号支所持明院の木村真弘と申し
ます。

ご承知の通り、本会はこれまで、歴
代会長に就任してこられた諸先輩方
の卓越した指導力をもって発展して
まいりました。はからずもこの度、そ
の重責を根本聖道会長より引き継が
せていただき事となりましたが、も
とより私は、浅学菲才の身でござい
ます。本当に自分がこのような大役
を担う事ができるかどうか深慮いた
しましたが、これも仏縁と考え、お引
き受けする決意をいたしました。し
かしながら、皆様のお力添えなくし
ては、無事に任期を全うできません。
不慣れな点が多くあるとは存じます
が、周囲の方々からお知恵を拝借いた
しながら報恩感謝の一念で、ご奉仕さ

せていただく所存でございます。

さて、真言宗豊山派仏教青年会は、
現代社会に生きる皆さまと共に、人
間教育と社会奉仕の実践を通じ、お
大師さまの教えをひろく世界に伝え
ることを目的として、昭和32年に活
動を開始いたしました。太平洋戦争
の敗戦、焼け野原からの戦後復興が
ひと段落を終え、高度経済成長へと
移りゆく最中の時代に、豊山派では、
広く世間の人びとにお大師さまの教
えを伝えようという機運が高まり、
日々研鑽に努める青年僧侶の活躍を
期待する声が出されるようになりま
した。その活動は、多岐にわたり、養
護施設の慰問伝道ならびに全国伝道、
総本山長谷寺で開催される牡丹まつ
りでの布教活動、昭和34年に実施し
た都内で伊勢湾台風被災者の托鉢募
金より続けてまいりました阪神淡路

大震災、東日本大震災等の災害支
援、声明等の仏教文化財記録保存や
一般の方々を対象とした写仏講座な
ど、今日に至るまで様々な試みが行
われてきた事は、周知の通りかと存
じます。

一方で、こうした各活動が実施さ
れた背景には、私たちを取り巻く社
会情勢の変化と、その都度、深刻な問
題へ真摯に向き合う青年僧侶の姿勢
がございました。戦後の日本は、人口
の一極集中化と都市部の急速な発展
に伴い、物質的な発展のみ追及され
る雰囲気が蔓延し、人間同士の結び
つきを希薄なものとし、お互いに思
いやりの心を持つといった心の豊か
さが置き去りにされるようになった
現状は、誠に遺憾な事であります。同
時に、このような時であるからこそ、
諸先輩方が築きあげてまいりました

第三十一代真言宗豊山派仏教青年会執行部
会長 木村真弘 事務局長 安晝明正
副会長 芝村昌憲 総務次長 富田道興
尾上聖盛 会計次長 佐々木栄蘿
喜田智靜 広報次長 篠山昌弘
林映寿 事業次長 杉山光範
監事 鈴木常孝 増澤正見

佛教青年会六十年の歴史に学び、お
大師さまのみ教えを正しく実践しな
がら現代社会に活かすという理念へ、
いま一度立ちかえる必要があるの
ではないかと考えている次第でござ
います。

会員をはじめ、諸大德様各位におか
れましてはどうぞ倍旧のご厚情を賜
りたく、伏してご指導、ご鞭撻のほど、
何卒宜しくお願い申し上げます。

合掌

全真言宗青年連盟理事長就任挨拶



東京一号 西光院 鈴木道盛

「豊友」の貴重な誌面を頂戴し、一

言ご挨拶申し上げます。全真言宗青
年連盟(以下全青連)前執行部副理事
長の任より引き続き、今年度より理
事長を仰せつかることとなりました。

豊山仏青からの理事長出向は、平成
20年に坂井智空豊山仏青元会長が理
事長を務められて以来となります。
何分浅学非才の身でござりますので、
歴代理事長が築かれた大業にはとて
も遠く及びませんが、日々努力精進
してまいる所存でござりますので何
卒宜しくお願ひ申し上げます。

全青連は、宗祖弘法大師の教義を根
底に十五の真言宗各派青年会が加盟
して活動しております。主となる活動
としては毎年結集が開催されており、
本年は高野山来年は根来寺で執り行
われます。豊山仏青からは毎回多くの
ご参加、ご協力をいただき大変心強く

全真言宗青年連盟出向者

事務局次長 門屋昭譽

事務局員 平井俊和

多田宏訓

合掌

新入生 歓迎会

新入生挨拶

種智院大学 一年

谷川 龍俊

(愛媛支所13番成願寺)

今年も、4月28日に大正大学、6月
21日に種智院大学で新入生歓迎会が
行われました。新入生の一人一人が
初々しいながらも、とてもしっかりと
した発言をしているところが印象的
でした。

これから的生活において楽し
いことも辛いこともあるとは思いま
すが、頑張って乗り越えていくて欲
しいと思います。

末筆になりましたが、根本聖道前
会長をはじめ前執行部事務局各位に
おかれましては、無事任期満了され
ましたこと心よりお慶び申し上げ、
よりお待ちしております。

末筆になりましたが、根本聖道前
会長をはじめ前執行部事務局各位に
おかれましては、無事任期満了され
ましたこと心よりお慶び申し上げ、
よりお待ちしております。

また木村真弘新会長並びに新執行部
事務局各位におかれましては、今後
のご活躍をして豊山仏青益々のご發
展をご祈念申し上げましてご挨拶と
させていただきます



佛教青年会六十年の歴史に学び、お
大師さまのみ教えを正しく実践しな
がら現代社会に活かすという理念へ、
いま一度立ちかえる必要があるの
ではないかと考えている次第でござ
います。

合掌



佛教青年会六十年の歴史に学び、お
大師さまのみ教えを正しく実践しな
がら現代社会に活かすという理念へ、
いま一度立ちかえる必要があるの
ではないかと考えている次第でござ
います。

合掌

—平成28年熊本地震— 被災地視察の御報告



益城町

最初に今回の地震で最大震度7の被害を受けた益城町へ視察に伺いました。現地を見渡すと町内の民家は柱が折れて倒壊しているものが多く見られ、一目で深刻な被災状態だと判断できるものでした。町内の共同墓地は、建物は倒壊し、墓地の石塔も倒れ、骨壺が露出しているような状態でした。また、町内のボランティア施設にも伺いましたが、私たちが、視察に伺った段階では自衛隊や、専門の業者の方々が中心に作業を行っているという様子でした。

平成28年、4月14日及び4月16日に熊本県益城町を中心に気象庁震度階級では最も大きい震度7を観測する「平成28年熊本地震」が発生しました。日本国内の一連の地震において震度7の地震が同地区で2度観測されたのは初めてのことであり、地震の規模としては、とても深刻なものとなりました。今回の地震を受けて、私たち真言宗豊山派仏教青年会としても熊本の一日も早い復興のために微力ではあっても、復興支援のお手伝いをしていきたいと思い、今後どのように対応していくかを検討するため、5月24日に現地への视察に行ってまいりました。



熊本城

益城町を視察したのち、熊本市内へ移動し、熊本城へと向かいました。熊本市内は比較的に被害も少ない印象でしたが、熊本城は外観から見ただけでも多くの石垣が崩れており、その上にかろうじて建物が乗っているといふ極めて不安定なものが見られました。熊本城も瓦の多くが剥がれ落ち、遠目に見てもかなり深刻なダメージを受けている様子が見てとれました。重要文化財であることから容易に修復に手を付けられないという問題もあり、完全な復旧にはかなり長い年月を要す



平成二十八年度
豊山弘書特別会員会費御芳名

ここに、平成二十八年度豊山仏青特別会員会費としてご協力を賜りました
御寺院の二寺名を掲載申上さず、皆大恵各位に心より申し申上せます。

本城内にある神社で、初代熊本藩主である加藤清正を祭り、熊本城を最も美しく眺めることのできる名所として熊本県民からとても親しまれている神社です。また、地元民にとっては、神前結婚の式場としても有名だそうです。今回は、最近ＴＶのニュースでも話題になつた「崩れた石垣から見つかった石彫りの観音様」を見て頂けないかと連絡をとつたところ、快く快諾して頂きました。今回発見された観音様は、熊本城調査研究センターによると、戦国時代に一般の人々が始祖を供養しようと「板碑」と呼ばれる板状の石碑に彫り込んだもので、その後、江戸時代に熊本城の石垣を造る際に急いで石を集めため、身近にあつた石碑を石垣に転用したものとみられており、およそ400年の時を経て、そのお姿をお見せになられたと考えられているようです。

今回の規察で得た情報を基に執行部で協議した結果、真言宗豊山派青年会は熊本県庁に20万円(千響からの義援金、愛知仏教青年会からの義援金を含む)を熊本地震義援金として納付致しました。今後も熊本の状況を見つつ、対応を検討していくことを考えております。

ご報告

見された観音様が、復興の光になつてくれるこ
とを祈つてます。」ということをおっしゃつてい
たのが印象的でした。私たちも総本山長谷寺の
十一面観音様を信仰する身として、復興のお手
伝いをさせて頂きたいと強く思いました。



東京 4	東京 3	東京 2	東京 1
164 148 138 136 136 130 152 146 144 139 129 98 96 88 86 83 77 75 74 70 69 68 55 53 48 46 24 23 22 20 19 17 13 8 4 1	西永昇円福寺無量善養遍照院正妙嚴福寺金蓮院滿福寺延命院壽命院正金滿福院願壽院正玉滿福院正善應福院真觀院正吉祥院眞福院明王院長久院觀音院乘院金乘院南藏院金乘院常乘院重林寺蓮乘院長延寺愛染院護國寺		
200 191 184 181 ² 180 171 188 175 161 153 22 219 124 123 119 118 116 115 112 110 109 107 106 105 103 52 44 43 37 36 35 33 32 30 25	龍光寺東正藏院長谷寺正藏院十善寺正眞寺光明寺九品寺延命寺正王寺正福寺性福寺華藏院淨光寺金剛寺城官寺東覺寺真性寺炎天寺與樂寺慈眼寺聖輪寺常泉院玄國院莊嚴寺文殊院延命寺		
16 14 12 3 208 201 197 193 181 175 168 124 122 95 93 88 5 301 294 251 250 249 247 246 245 242 241 240 238 237 236 231 226 223 206 202	金剛院多聞院西福寺光明寺正福院宝性院來迎院延命院滿藏院大王寺東漸院三覺院寶蓮寺西福寺無量壽院觀音寺即清寺大行寺光明院長仙寺世尊院東福寺東門寺禪定院梅照院慈眼院寶仙寺圓光院長命寺光明寺正德寺密寶院		
32 29 27 17 369 270 227 222 220 216 160 146 144 135 126 283 328 327 287 278 277 276 273 272 270 264 263 260 ² 259 ³ 255 255 213 212	仏陀院東福寺持明院金乘院聰德寺實相院圓照院龍藏院東耀寺養性寺遍照院正院慈尊院地藏院正院光明院寶藏院觀音寺法音寺常性寺東福寺真藏院光明院通寺大空闇寺安養寺善成寺光明院相院	東京 5	東京 6
埼玉 3	埼玉 2	埼玉 1	神奈川

豐山弘青特別會員会費御芳名

ここに、平成二十八年度豊山仏青特別会員会費としてご協力を賜りました
御寺院の二寺名を掲載申上さず、皆大恵各位に心より申し申上せます。

今回の規察で得た情報を基に執行部で協議した結果、真言宗豊山派青年会は熊本県庁に20万円(千響からの義援金、愛知仏教青年会からの義援金を含む)を熊本地震義援金として納付致しました。今後も熊本の状況を見つつ、対応を検討していくことを考えております。

加藤神社

本城内にある神社で、初代熊本藩主である加藤清正を祭り、熊本城を最も美しく眺めること

ができる名所として熊本県民からとても親しまれている神社です。また、地元民にとつては、神前結婚の式場としても有名だそうです。今回

写仏講座

編集後記

豊山仏青では写仏講座を行っておりまます。興味のある檀信徒さまがいらっしゃいましたら、是非ご案内ください。

平成28年

9月9日(金)
10月14日(金)
11月11日(金)
12月9日(金)

午後1時より宗務所にて

詳細につきましては豊山仏青ホームページをご覧ください。

また豊山仏青ホームページ、写仏講座の中の「写仏を体験してみよう」では、体験コーナーをご用意しております。なぞつてみたり、お子さまの塗り絵としても、ご活用ください。

今号より「豊友」の編集を担当させて頂くことになりました広報次長の篠山昌弘と申します。

今号では、4月14日に起った「平成28年熊本地震」に対して執行部で熊本へ視察に行つた記事を軸に編集を進めました。私たちにとっては、4月に執行部が入れ替わり、引継ぎを済ませたばかりで「さあ、これからどうしようか」と考え始めた時に起きた大地震でした。まだ顔合わせもない状況で連絡を取り合い地震に対しての対応を練ることは大変でしたが、無事、熊本へ視察に赴き県庁の方へ義援金を送られたことで執行部の結束も強まつたと感じています。

前途多難な船出となりましたが、これら二年間、行事も多いですが精一杯努めていきたいと思っています。慣れない編集作業のため、ご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

篠山昌弘

写仏講座・千響チャリティー演奏は

豊山仏青

検索



Facebook

www.facebook.com/buzanbussei/



豊友お問い合わせ先

info@bussei.gr.jp

豊友 第156号

平成28年8月19日発行

発行人 木村真弘

発行所 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目40番8号
真言宗豊山派宗務総合庁舎内 真言宗豊山派佛教青年会

デザイン・印刷 株式会社 ディー・エイ・ティ・コーポレーション